※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和８年度　環境科学科

教科	環境科学	科目	現代の世界環境	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目は国際社会で起きている環境問題について学習する科目です。環境に関する日々のニュースや出来事など、テレビ・インターネット・新聞などのメディアに目を通しておく事が大事です。
・学習方法等は、初回の授業のガイダンスやその都度指示をしますので、毎回の授業にしっかりと出席をして聞いておくようにしてください。

2　学習の到達目標

・国際社会の諸課題のうち環境問題を中心に、テーマごとに学び、基礎的な知識を身につける（知識及び技能）
・身近なところから国際化について考え、日本と世界のつながりを環境の観点から考察することができる。（思考力、判断力、表現力等）
・国際的な視点から主要な環境問題を取り上げ、解決と予防のためには地域、国、国際的な協力の必要性と重要性を自覚し深めることを目標とする。（学びに向かう力、人間性等）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各学習単元の諸課題を理解し、その知識を身につけている。	各学習単元の諸課題を見出し、それらを多面的・多角的に考察し、様々な立場から公正に判断をし、学習内容の過程や結果を適切に判断している。	各学習において、積極的に取り組み、授業内においての話を聞く態度や発問への応答ができている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	環境問題の歴史的背景	１.欧米諸国のアジア・アフリカ・南アメリカへの進出、植民地化 ２.帝国主義の成立と世界分割 ３.南北問題 ４.新興国の経済成長	a：環境問題の歴史的背景について理解している。 b：環境問題の歴史的背景について考察し、どのようにして現代の問題につながっているのかを自分の言葉で表現することができる。 c：環境問題の歴史的背景について、積極的に学ぼうとしている。	小テスト 定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見・考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント・ノートへの加筆(メモ) プリント・ノート提出
２学期	世界・日本の環境問題	１.温暖化現象 ２.地球の砂漠化 ３.森林破壊 ４.都市災害 ５.集中豪雨と土砂災害	a：世界・日本の環境問題について理解している。 b：世界・日本の環境問題について考察し、それぞれの環境問題に対し、何が原因であるのかを自分の言葉で表現することができる。 c：世界・日本の環境問題について、積極的に学ぼうとしている。	小テスト 定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見・考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント・ノートへの加筆(メモ) プリント・ノート提出

※令和４年度以降入学生用

３学期	環境問題への対応	１.環境問題への取り組み ２.未来への展望 ３.１年間の学習総	a：世界や日本が取り組んでいる環境問題の対応について理解している。 b：世界や日本が取り組んでいる環境問題の対応について考察し、それぞれの対応についてわれわれ一人一人がどのように行動を心掛ければよいか、自分の言葉で表現することができる。 c：世界や日本が取り組んでいる環境問題の対応について、積極的に学ぼうとしている。	小テスト 定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見・考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント・ノートへの加筆(メモ) プリント・ノート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度